

大阪府警におけるDV事案の対応状況と問題点

1 大阪府警における体制

ストーカー・DV対策室の設置（平成26年1月23日設置）

2 大阪府警におけるDVの取扱い状況（平成27年中）

(1) DV対応件数(全国1位)

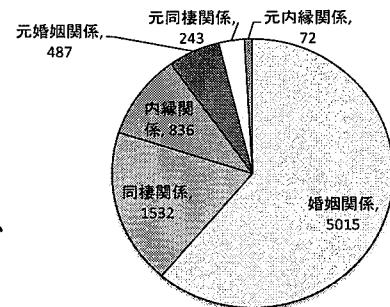
平成27年のDV対応件数は8,185件で、女性被害者が77.7%、男性被害者が22.3%となり、総数並びに男性被害者の割合は年々増加している。

	総数	女性被害者	男性被害者
平成25年	5,844件	5,144件(88.1%)	700件(11.9%)
平成26年	8,002件	6,431件(80.4%)	1,571件(19.6%)
平成27年	8,185件	6,360件(77.7%)	1,825件(22.3%)

(2) 被害者と行為者との関係

被害者と行為者との関係は、婚姻(元)関係～67.2%、内縁(元)関係～11.1%、同棲(元)関係～21.7%となっている。

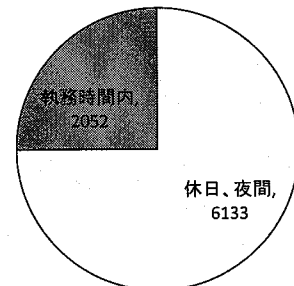
法改正後、同棲(元)関係の相手からの暴力についても法に定める施策の適用対象とされたことから、法改正以前の件数と比較し、2,000件超の増加となっている。



(3) 対応時間帯

執務時間内が2,052件(25.1%)、休日及び夜間帯が6,133件(74.9%)となっている。

休日、夜間帯は、警察においても限られた人数で対応していることから、対応件数の増加に伴い、他の警察業務を圧迫している状況である。



(4) 保護命令

保護命令に係る書面提出請求および保護命令発令通知件数は全国1位となっている。

3 問題点および意見

- (1) 相談体制の更なる充実について
- (2) 一時保護に係る体制の充実
- (3) 男性被害者への支援及び加害者対策の必要性